

## 28 瀬戸の花火

明治の始め頃より、紺屋奥地にあった諏訪神社の祭典の余興として打ち上げられていた、今では本郷神社の花火となっています。毎年9月初旬に開催されます。



## 29 たにもと農園 「トルコキキョウ祭り」

色とりどりのトルコキキョウの中から自分の好きな花を選んで摘むことができます。(有料) 6月上旬～6月下旬 土日9時～17時 要問合せ 639-0510(谷本)



## 30 じこうざん ふもんじ 慈光山 普門寺

往古天文年中は真言宗普門庵と称し亀ヶ谷沢にありました。花倉の乱で敗死した今川良真(玄広恵探)の菩提寺として臨済宗に改宗格式を高め、寛文3年(1663)現在地に移転中興し普門寺に改称しました。



## 31 滝沢八坂神社 「田遊び」

古文書によると、天和三年(1683年)には既に行われていたと伝えられる歴史ある祭りです。滝沢の村の鎮守だった八坂神社に、毎年2月17日に奉納されています。静岡県無形民俗文化財に指定されています。



## 32 杵塚さんちの農体験プラン

田植え体験、お茶摘み、紅茶づくり交流会など年間をおとしてさまざまな体験イベントを開催し全国、海外から若者が集まります。 問 639-0033(杵塚) HP <http://www.munouyakucha.com>



## 33 ほうじょうざん りゅううんじ 宝城山 龍雲寺

瀬戸川の支流滝沢川の上にある古い伝説を持った山寺です。



## 34 不動峡・魔崖仏

滝沢西城と東城の間、岸壁に挟まれた滝ノ谷川の渓谷は藤枝市の名勝となっています。現在ある大小の不動明王が祀られたのは大正・昭和時代で、それ以前はさらに上流の元不動(小字・尻高沢)という場所が信仰されていました。近年は魔崖仏が彫らる行楽客の関心を集めています。



◆紅葉 四季折々の美しい景色が魅力です。特に秋を彩る真っ赤な紅葉に心が癒されます。毎年11月下旬には紅葉まつりが開かれます。  
◆不動峡山ノ市 地元のお母さん達が運営している朝市です。(営)8時～16時頃まで 日曜日のみ営業

## 35 水車村

不動峡の縁に囲まれた、かやぶきの水車小屋。昔の農村の様子を今に伝える水車村は、懐かしい日本のふるさとそのものです。



## 36 やまめの里梅園

滝沢川の上流にある梅園です。2月中旬～3月中旬に約170本の梅が見頃を迎えます。5・6月には梅の実狩りも楽しめます。 639-0271(加塩)

## 37 桧峠のお地蔵様

古代の大津波によって上滝沢奥部の鯉沢に漂着したという地蔵様を祀っています。



## 38 瀬戸谷村役場跡

明治22年(1889年)の町村制発布により瀬戸ノ谷村と滝沢村が合併で「瀬戸谷村」となり、この地に瀬戸谷村役場が新設されました。



## 39 高山寺

高山寺は藤枝市瀬戸ノ谷字紺屋にあって、「道場山」と号する。本尊は阿彌陀如来。平安初期、弘法大師により真言宗の寺院として開基したと伝えられています。



## 40 マンスリーイベント

田植え教室や森林体験など月変わり、自然と触れ合う・遊ぶ・学ぶ楽しいイベントを開催しています。



HP <http://www.syoujiki.net> (株)石川木材(正直な家の事務局) 639-0804

## 41 滝沢田舎暮らし体験施設 (やまあい)

田舎暮らしを体験していただくために地域の活性化団体「生き生きフォーラム」が管理・運営する施設です。季節で体験企画を開催します。 要問合せ 藤の瀬会館 639-0120



## 42 紀伊国小長谷八兵衛尊

中山橋の横にあり、その昔、瀬戸川・滝沢川では、上流で疾病が発病すると下流でも病気が流行し、小長谷八兵衛の薬により助けられた人々の感謝の念が供養塔の建立につながったと言われています。



## 43 萩の平遺跡

縄文時代の遺跡で、瀬戸川・滝沢川が合流する南側の丘陵地にあります。



## 44 宮原神社

創建年代不詳、西宮神社・斎宮と称して、阿井家の産土神でしたが、明治時代に宮原神社とされました。



## 45 志太泉酒造

瀬戸川の清流がうみ出し、数々の賞を受賞している蔵元です。10日以上前に事前予約すれば工場見学することができます。(要予約) 639-0010



## 46 旧瀬戸谷街道

かつては瀬戸川の手根に沿って瀬戸谷・伊久美方面に通じていた街道は、笹間・伊久美に通ずる重要な街道でした。

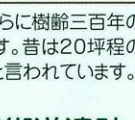
## 47 西向地蔵尊

建立年代は不詳。建立の動機は水害によるものだろうと伝えられています。



## 48 阿彌陀地蔵

十六体の地蔵尊の傍らに樹齢三百年の銀杏の大樹があります。昔は20坪程の敷地にお堂があったと言われています。



## 49 円通院旧街道遺跡

鹿鳴渡まで山裾を縫うように通じる道です。奈良・平安時代から続く道と伝えられています。



## 50 助宗大井神社と大杉

創立年は不詳なるも、応仁元年(1467)社殿を修理し宝暦5年(1755)再建記録がある。大杉は創建時代に植えられたものが不詳です。



## 51 助宗野仏群

瀬戸川の堤防敷地内にあり、馬頭観音、延命地藏、八兵衛さんの供養塔があります。



## 52 西宮神社跡 (榎の大木)

宮原神社の前身西宮神社が鎮座していたと思われます。宮原地区は、瀬戸川・滝沢川が合流し水害の多い土地であったと推測されます。



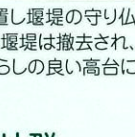
## 53 さんかく山の里 大塚園

夏にはブルーベリー秋にはみかん狩りが楽しめます。(有料) 7月中旬～8月末 木、日 営 8:00～14:00 要予約 要問合せ 641-6325



## 54 池川原地蔵尊

傍らに地蔵さんを安置し堰堤の守り仏としました。明治以降、堰堤は撤去され、地蔵尊は西側の見晴らしの良い高台に移されました。



## 55 助宗古窯址群

奈良・平安初期の窯跡群で、瀬戸川左岸の助宗から寺島、花倉地区に分布しています。当時としては志太地域で最大級の窯跡群です。



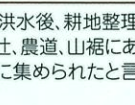
## 56 船渡川神社

助宗の下山の麓にあり、昔この付近に村松吉佐衛門の先祖を祀ったと言ひ伝えがります。



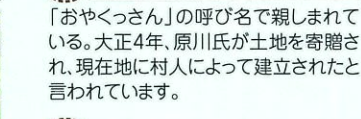
## 57 寺島野仏群

明治43年、瀬戸川大洪水後、耕地整理が行われた際に村の辻、農道、山裾にあった野仏が堤防地内に集められたと言われています。



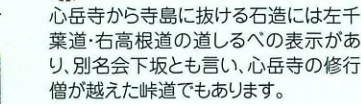
## 58 薬師堂

「おやくっさん」の呼び名で親しまれている。大正4年、原川氏が土地を寄贈され、現在地に村人によって建立されたと言われています。



## 59 峠の地蔵尊

心岳寺から寺島に抜ける石造には左千葉道・右高根道の道しるべの表示があり、別名会下坂とも言い、心岳寺の修行僧が越えた峠道でもあります。



## 60 河津桜

瀬戸川の河川敷には河津桜が植樹されていて3月初旬に見頃を迎える。3月下旬にはソメイヨシノが開花し桜ロードに姿を変えます。



## 61 寺島河川敷公園 (瀬戸川遊び)

瀬戸川の清流には夏になるとたくさんの家族連れが訪れ川遊びを楽しみます。



## 62 稲葉のとうろん

お盆の年中行事の一つで、火の輪をぐるぐる回しながら松明に向かって投げ火をつけるものです。



## 63 稲葉公民館

稲葉地区の活性化拠点施設です。稲葉地区のことを知りたい方はここへ来れば知ることができます。



## 64 寺島神社

明治時代、白鬚神社・蔵王権現・山神社を合祀して寺島神社と称しました。



## 65 日切地蔵尊

建立年代は不詳。地元民の疾病退散、延命、災難除けの願がかけられていたのかもしれないと言われています。

